

# 元年度大岡小学校 4年1組 クラスの学びを発信します！

## 世界に一つだけの大岡0141ケチャップ

子どもたちは、一年間、つきたい力は何なのか、どんな活動をしたいのかを考えていると、自然と関わっていききたい、物づくりをしたいという願いが高まった。

子どもたちは、野菜や果物、花など様々な栽培できる植物を探し、一番広がりがあると予想したトマトにねらいを定めた。トマトの中でもムースやピクルスなども考えたが、トマトケチャップをつくり、販売したりお店で使ってもらったりしたいと願いが広がった。

子どもたちは、授業の時間だけではなく学校が休みの日にも商店街のお店を回り、ケチャップを使っているかどうかを聞きまわった。たくさんの店舗からピザ屋さんとつながることができ、自分たちの活動をより理解してくれているという理由から学習を共に進めていくことを決めた。ただ、ピザ屋さんに「味



を認めてもらいたい」という思いからケチャップ作りを4回繰り返した。そして、毎回作って味わった後には、味覚を視覚化できるようにチャートにまとめた。チャートの項目は、旨味、苦味、甘味、酸味、塩味と、見た目と食感を数値化した。ピザ屋さんに食べてもらい、グループごとにアドバイスや感想を言ってもらった。

7月の最後には、ピザ屋さんが来校し、「大岡0141ケチャップ」を使用して、新メニューを考えるとということを約束してもらい、子どもたちは期待がさらに広がった。これからは、新メニュー作りや長梅雨の影響から収穫量の少ないトマトの栽培など、まだまだ活動は多岐に広がっていきそうです。トマトケチャップ作りも、安定した味を出せていないことから、まだまだ追求していく必要があります。

